



消防緊急通信指令施設



稲枝中学校武道場

ひこね21世紀創造プラン

市民がつくる
安心と躍動のまち
彦根

1. 人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
4. 明日の彦根市を担う人を育むまちづくり
5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

平成13年度決算 特集

彦根市の
財政状況を
お知らせします

困財政課

☎22-1411 (内線422)

FAX22-1398

市では、「市民がつくる 安心と躍動のまち」を実現するため、さまざまな事業を行っています。その費用は、市民の皆さんの税金をはじめ、さまざまなかたちで賄われています。昨年度、市はどのように収入を得、また何に使ったのでしょうか。平成13年度の決算がまとまりましたのでお知らせします。



南彦根駅に設置したエレベーター

また、いろいろなかたちで市が持っている資産は、お金に換算すると幾らぐらいで、そのお金はどうのように調達したのでしょうか。そのようなことをお知らせするため、市では、初めてバランスシート（貸借対照表）を作成しました。併せて掲載します。

平成13年度の一般会計については左下のグラフに、特別会計や企業会計については左の表にそれぞれ決算のあらましをまとめました。

長引く景気の低迷により、市税収入が減少するなど、市は厳しい財政状況にあります。スクラップ・アンド・ビルドを基本に効率的な行政運営を行い、快適で安心なまちづくりの実現に向け市政の推進に取り組んでまいります。市民の皆さんのご協力をお願いします。

《平成13年度に取り組んだ主な事業》

JR南彦根駅にエレベーターを設置するなど、バリアフリー構想の基盤整備
 デイサービスセンター・在宅介護支援センターきらら、グループホームゆうづの開設 特別養護老人ホームへの建設助成、低年齢児保育、時間延長保育、留守家庭児童会の充実など、少子・高齢社会に向けた福祉施策の実施
 ペットボトル圧縮梱包機器の整備など、ごみの資源化とリサイクルの推進
 商店街の活性化事業に対する助成

や、地域農業の活性化に向けてみんなががんばる集落営農実践事業など産業振興施策の実施
 本町地区街なか再生土地画整理事業や商店街ファサード整備事業の実施など中心市街地の活性化
 都市計画街路や都市計画公園の整備 彦根駅東土地画整理事業の推進など都市基盤の整備
 城陽小学校の全面改築工事の着手

や稲枝中学校武道場の整備、中学校の普通教室にパソコンとプロジェクターを設置するなど教育環境の整備
 教育施設における非常通報システムなどの整備など安全確保対策の実施
 119番受信指令施設や救助工作車などの整備など消防施設の充実

特別会計

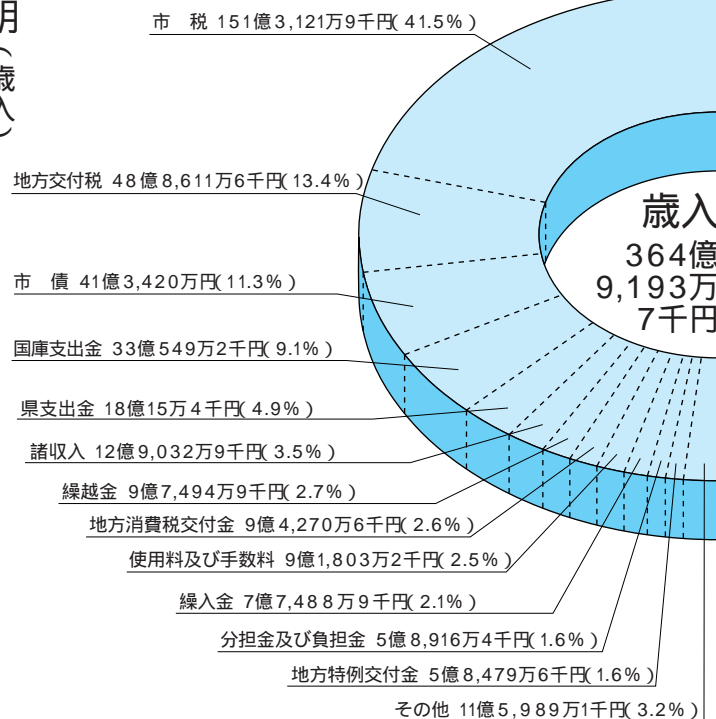
会計名	歳入額	歳出額
国民健康保険事業	64億8,541万2千円	59億1,858万3千円
観光事業	3億5,912万3千円	3億3,178万6千円
住宅新築ならびに改修資金貸付事業	8,466万9千円	1億8,599万5千円
有線放送電話事業	4,968万2千円	4,624万8千円
下水道事業	82億1,045万9千円	80億4,745万円
休日急病診療所事業	5,677万7千円	5,025万2千円
老人保健事業	79億3,996万3千円	78億7,235万円
農業集落排水事業	2億9,330万円	2億9,329万1千円
介護保険事業	30億9,455万9千円	30億5,805万2千円

企業会計

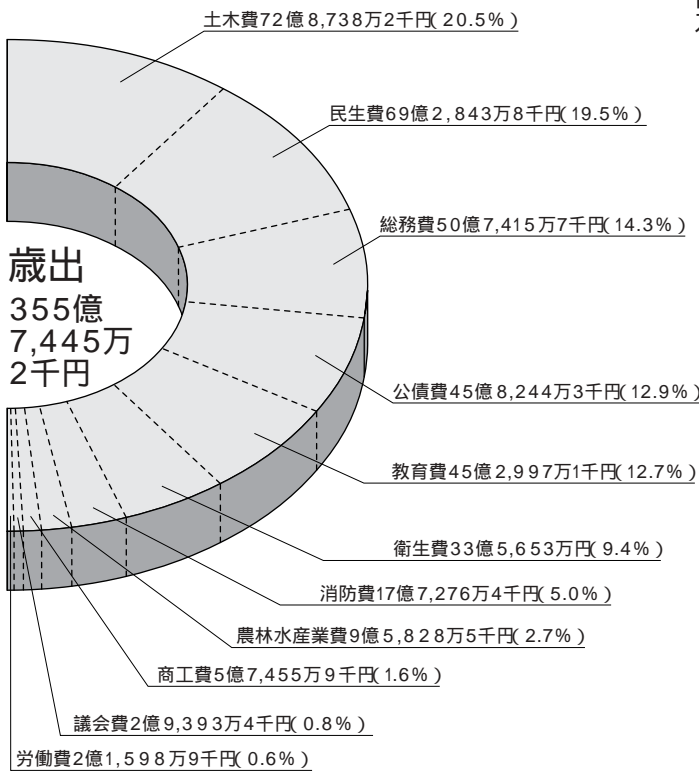
会計名	収入額	支出額
病院事業	61億9,017万3千円	65億1,967万9千円
水道事業	24億3,254万1千円	21億 445万7千円

市税：皆さんが市に納めた税金
 地方交付税：所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて国から交付されたお金
 市債：大きな事業を行うために国などから借り入れたお金
 《平成13年度末現在高 421億4,453万3千円》
 国庫支出金：特定の目的の財源として国から交付されたお金（補助金など）
 県支出金：特定の目的の財源として県から交付されたお金（補助金など）
 繰越金：前年度から繰り越されたお金
 地方消費税交付金：県が徴収した地方消費税の一部から市へ交付されたお金
 使用料及び手数料：市の施設の使用料や住民票をはじめとする証明書などの交付にかかる手数料
 繰入金：会計とは別に特定の目的のために積み立てているお金を会計に取り込むもの
 分担金及び負担金：市が行う事業によって特に利益を受ける人や団体が納めたお金
 地方特例交付金：減税の影響を補うため国から交付されたお金
 諸収入：上記の収入科目に含まれない収入（預金利息など）

用語の説明（歳入）



一般会計



用語の説明（歳出）

土木費：道路や橋、公園などの施設の整備などに使われたお金
 民生費：福祉の充実などのために使われたお金
 総務費：市税、選挙、戸籍の事務や市の発展のための計画を作るために使われたお金
 公債費：大きな事業を行うために借りたお金の返済に使われたお金
 教育費：小・中学校などの教育や文化、スポーツの振興のために使われたお金
 衛生費：健康診断や予防接種、ごみの収集・処理などに使われたお金
 消防費：市民の安全を守るため、消防や防災対策に使われたお金
 農林水産業費：農林水産業の振興に使われたお金
 商工費：商工業や観光の振興に使われたお金
 議会費：市議会を運営するために使われたお金
 労働費：働く人たちの福祉のために使われたお金

【表2】資産、負債、正味資産の推移

平成13年度	資産 1,370億8,998万4千円	負債 490億 389万5千円	正味資産 880億8,608万9千円
↑			
平成12年度	資産 1,352億1,102万5千円	負債 483億3,030万7千円	正味資産 868億8,071万8千円

【表1】バランスシートに載っている主な内容

借方 (市の所有する資産)	貸方 (資産を作るために調達した額)
資産 税金などを使って作られた財産 <土地、建物> 道路、公園、学校など <その他の資産> 現金、預金など	負債 将来に負担のある額 ・地方債(市の借金)など 正味資産 将来に負担のない額 ・国や県からの補助金 ・市税など

彦根市のバランスシート

借方	貸方
資産の部(市が所有している資産) 1.有形固定資産(市が建設した市民生活の基盤) (1)総務費(市庁舎など) 121億6,060万4千円 (2)民生費(保育園、老人ホームなど) 34億1,521万6千円 (3)衛生費(清掃センターなど) 59億5,663万7千円 (4)労働費(勤労青少年ホームなど) 6億8,818万4千円 (5)農林水産業費(農道、林道など) 23億2,077万 円 (6)商工費(夢京橋あかり館など) 6億8,977万2千円 (7)土木費(道路、公園、公営住宅など) 607億7,457万3千円 (8)消防費(指令施設、消防自動車など) 25億6,508万7千円 (9)教育費(小中学校、図書館など) 309億7,899万 円 (10)その他の施設 2億3,239万4千円 有形固定資産合計 1,197億8,222万7千円 (うち土地 430億3,554万 円) 2.投資等 (1)投資及び出資金(財団や公社などへの出資金) 34億 777万2千円 (2)貸付金(勤労者住宅資金など) 10億8,619万2千円 (3)基金 ①特定目的基金(福祉保健医療基金、教育施設整備基金など) 60億3,078万6千円 ②土地開発基金 11億6,103万 円 ③定額運用基金(国民年金印紙購入基金) 8,500万 円 基金計 72億7,681万6千円 投資等合計 117億7,078万 円 3.流動資産(現金、預金、債権) (1)現金・預金 ①財政調整基金 23億 567万5千円 ②減債基金 10億4,570万 円 ③歳計現金 8億2,721万9千円 現金・預金計 41億7,859万4千円 (2)未収金 ①地方税 12億4,501万3千円 ②その他 1億1,337万 円 未収金計 13億5,838万3千円 流動資産合計 55億3,697万7千円 資産合計 1,370億8,998万4千円	負債の部(市が負っている債務) 1.固定負債(1年を超えて返済する額) (1)地方債(建設事業などの借入金) 389億4,901万8千円 (2)債務負担行為(将来の支払い義務があるもの) ①物件の購入等 0円 ②債務保証又は損失補償 880万4千円 債務負担行為計 880万4千円 (3)退職給与引当金 (職員の退職金相当額) 71億4,626万6千円 固定負債合計 461億 408万8千円 2.流動負債(1年以内に返済する額) (1)翌年度償還予定額 (地方債の翌年度償還予定額) 28億9,980万7千円 (2)翌年度繰上充用金 0円 流動負債合計 28億9,980万7千円 負債合計 490億 389万5千円 正味資産の部(市が正味で保有している資産) 1.国庫支出金(国からの補助金) 192億3,629万1千円 2.都道府県支出金(県からの補助金) 90億2,878万6千円 3.一般財源等 598億2,101万2千円 正味資産合計 880億8,608万9千円 負債・正味資産合計 1,370億8,998万4千円

【注1】対象とした会計は、平成13年度の普通会計です。彦根市の普通会計は、一般会計、住宅新築ならびに改修資金貸付事業特別会計、有線放送電話事業特別会計、休日急病診療所事業特別会計の純計です。従って、下水道事業や介護保険事業などの特別会計や病院・水道事業の企業会計は含まれません。

【注2】基礎数値は、昭和44年度から平成13年度までの地方財政状況調査(決算統計)のデータを使用しました。
 【注3】作成基準日は、平成14年3月31日(平成13年度末)とし、出納整理期間における出納は、基準日までに終了したものととして作成しました。

「彦根市の資産(財産)は現在どれくらいあるの?」「市債の返済などの将来の負担は、どれくらいあるの?」彦根市の家計簿である平成13年度の決算状況をお知らせするにあたり、市民の皆さんが知りたい市の財政に関する情報を分かりやすくするため、初めてバランスシート(貸

借対照表)を作成しました。バランスシートとは、年度末現在における資産と負債を対照して表示するストック(過去から今までに蓄えられた財産)情報の一覧表です。左側に資産、右側にはその資産を整備するために調達した資金の情報が掲載されています(左ページの表

1)市では、国から示された作成マニュアルに基づき、普通会計をベースにバランスシートを作成しました。左の表は、平成13年度末の「彦根市のバランスシート」で、市が所有している資産は1,371億円、市が負っている負債(債務)は490億

円、正味資産は881億円となっております。左ページの表2は、平成12年度末から同13年度末の1年間の推移を示しています。資産は19億円、負債は7億円、正味資産は12億円それぞれ増加していることがわかります。

紙上談話室・9
彦根市の家計簿
バランスシートを作成しました
 今年度から始めましたこの「紙上談話室」の連載も、早いもので9回目を迎えることとなりました。朝の登庁時に歩くときの息も白く、外はすっかり寒くなり、いよいよ12月です。12月といますと、毎年、前年度の決算を市民の皆さんにお知らせしています。今年お知らせする平成13年度決算には、今までにはなかったデータを添えています。それは『バランスシート』というものです。少し専門的な内容になるかもしれませんが、今回は、今回はバランスシートについてお話させていただきます。

現在の地方自治体の会計方式は、現金の収入や支出の事実に基づいて経理される、いわゆる現金主義が採用されていますが、『収支の状況はわかるけど、資産の状況はどうなっているの?』といった素朴な疑問が出てきます。現在の方式でも、地方債の現在高や債務負担行為に関する調査を決算に際して財産に関する調査を

従いまして、正味資産比率が高いことが、そのまま投資する余力があるという判断につながらないことに注意が必要です。
市民と情報を共有して
 私より合理的な財務情報に親しむことにより、本市のマネージメントに活用するアイデアが生まれてくるのではないかと期待しています。市民の皆さんに情報をわかりやすく提供していく立場からは、バランスシートは市民の皆さんとコミュニケーションをとるための便利な道具として、有効に活用できないものかと考えております。
 しかしながら、バランスシートの作成は本市では初めての試みであり、今後も内容の充実を研究してまいりたいと考えておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。
 それでは、今年最後の「紙上談話室」はここまでとします。

